

名称のみの変更：S&P 500 ESG 指数から S&P 500 スコアリング&スクリーニング指数へ



Maria Sanchez

ディレクター、サステナビリティ・インデックス・プロダクトマネジメント、米国株式
S&P ダウ・ジョーンズ・インデックス

この資料は、2025年2月12日に弊社ブログ Indexology® に掲載された文書の翻訳版です。英語版と日本語版の間に内容の相違がある場合は英語版をご参照下さい。

英語版：[What's in a Name? From S&P 500 ESG Index to S&P 500 Scored & Screened Index – Indexology® Blog | S&P Dow Jones Indices](#)

過去 10 年間においてサステナブル投資に対する関心が高まる一方で、グリーンウォッシングのリスクに対する懸念も高まっています（グリーンウォッシングとは、環境に配慮しているように見せかける行為）。S&P DJI は、欧州証券市場監督局（ESMA）が新たに公表したファンド名称に関するガイドラインに基づき、S&P 500® ESG 指数の名称を S&P 500 スコアリング&スクリーニング指数に変更することを発表しました。なお、この ESMA のガイドラインは、ESG や持続可能性に関連する用語をファンドの名称に使用する際の指針を定めたものであり、S&P DJI に直接適用されるものではありません¹。

S&P 500 スコアリング&スクリーニング指数：同じメソドロジーを使用し、名称のみを変更

S&P 500 スコアリング&スクリーニング指数の目標はこれまでと変わりません。この指数は、特定のサステナビリティ基準を満たす証券のパフォーマンスに連動する一方で、S&P 500 と同様のセクター・ウェイトを維持するように設計されています。

指数の名称は変更されましたが、指数のメソドロジーに変更はありません。構成銘柄の選択基準や除外基準はこれまで通りであり、ベンチマークとしての一貫性が維持されています。

- この指数では様々な適格性基準を設けています。具体的には、国連グローバル・コンパクト（UNGC）の原則や、S&P の利害関係者分析（MSA）、さらには企業活動などに基づくスクリーニングを行った上で、S&P グローバル ESG スコアを用いて構成銘柄の選択と除外を行います。この指数では、S&P 500 の各産業グループ内で時価総額の 75% をカバーすることを目標に、S&P グローバル ESG スコアの高い順に企業を選択し、これによって S&P 500 と同様のセクター・ウェイトを維持することを目指します。

¹ S&P ダウ・ジョーンズ・インデックス、投資教育、「[FAQ: Index Name Changes in Response to the ESMA Guidelines on Funds' Names Using ESG- or Sustainability-Related Terms](#)」、2025 年 1 月 9 日。

図表 1：S&P 500 スコアリング&スクリーニング指数のメソッドロジーの概要

目標：S&P グローバル ESG スコアを用いて、S&P 500 の各 GICS 産業グループ内で時価総額の 75% をカバーすることを目標とする。

ステップ 1：

一般炭、タバコ、非人道的兵器、小型武器、軍需品供給契約、またはオイルサンドの製造に関与している企業、または国連グローバル・コンパクト (UNGC) に準拠していない企業を除外する。

ステップ 2：

各 GICS 産業グループ内で、S&P グローバル ESG スコアが下位 25% に入っている企業を除外する。

ステップ 3：

S&P 500 の中で、各 GICS 産業グループ内で S&P グローバル ESG スコアに基づいて残りの企業をランク付けする。

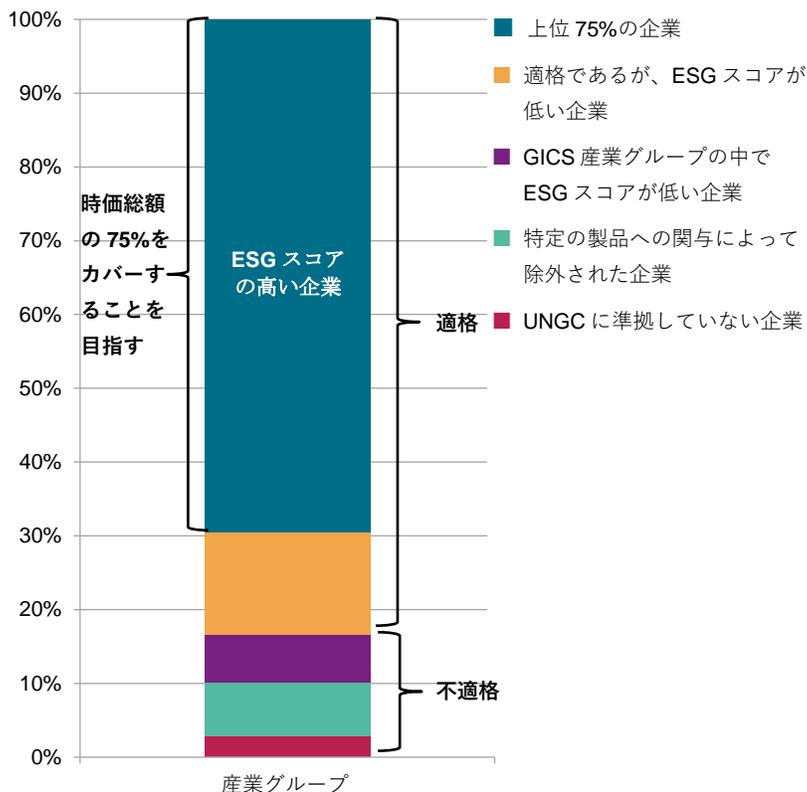
ステップ 4：

S&P グローバル ESG スコアが最も高い企業から始め、各 GICS 産業グループ内で時価総額の 75% に達するまで、スコアの高い順に企業を選択し、指数に採用する。

ステップ 5：

浮動株調整後時価総額に基づいて企業のウェイトを設定する。

指数構築の見本

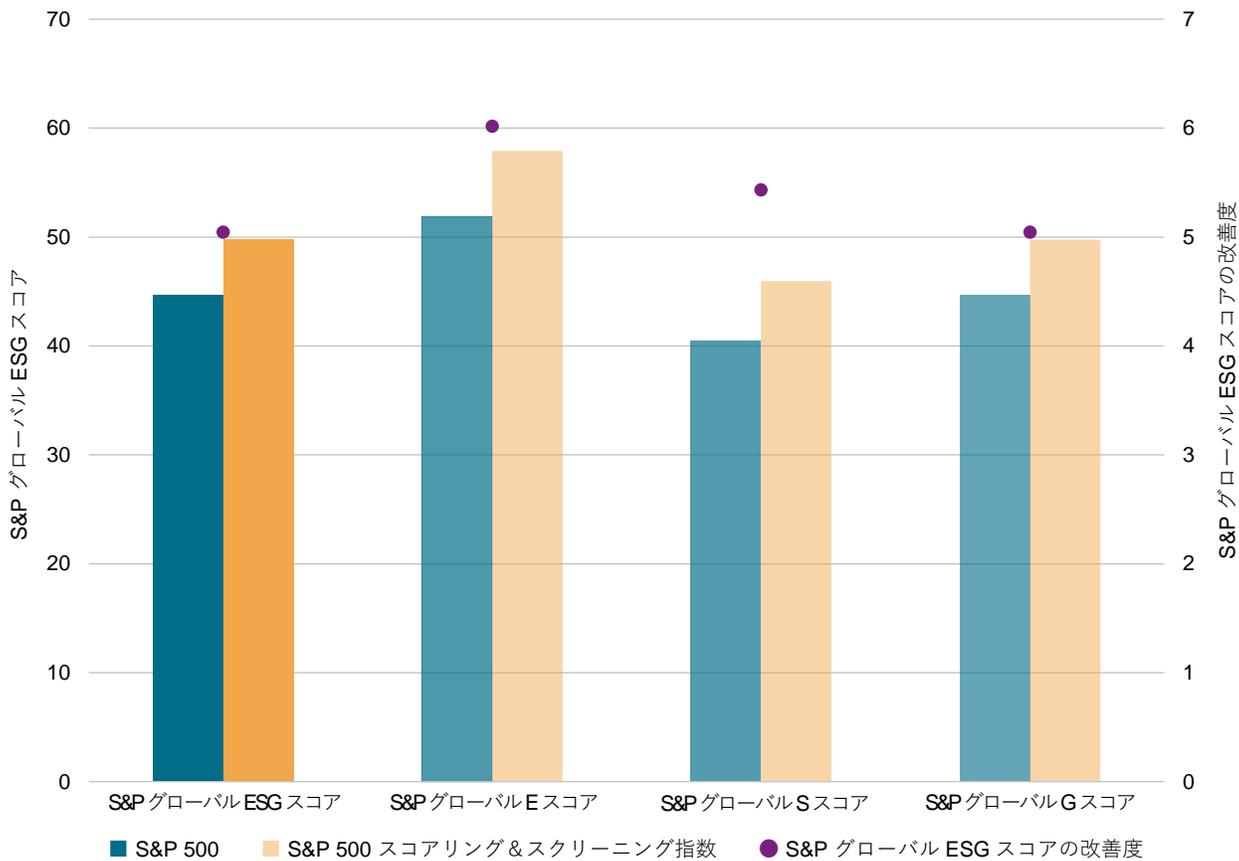


出所：S&P ダウ・ジョーンズ・インデックス LLC。図表は説明目的のために提示されています。

S&P 500 スコアリング&スクリーニング指数は、S&P 500 と比べて優れた ESG スコアを達成しており²、全体として S&P 500 の ESG スコアを 5.05% 上回っています (図表 2 参照)。

² Sanchez, Maria 著、「[A Measure of Success – The Evolution of ESG Scores in the S&P 500 ESG Index](#)」 S&P ダウ・ジョーンズ・インデックス、 – Indexology® ブログ、2024 年 11 月 12 日。

図表 2：各指数の S&P グローバル ESG スコア

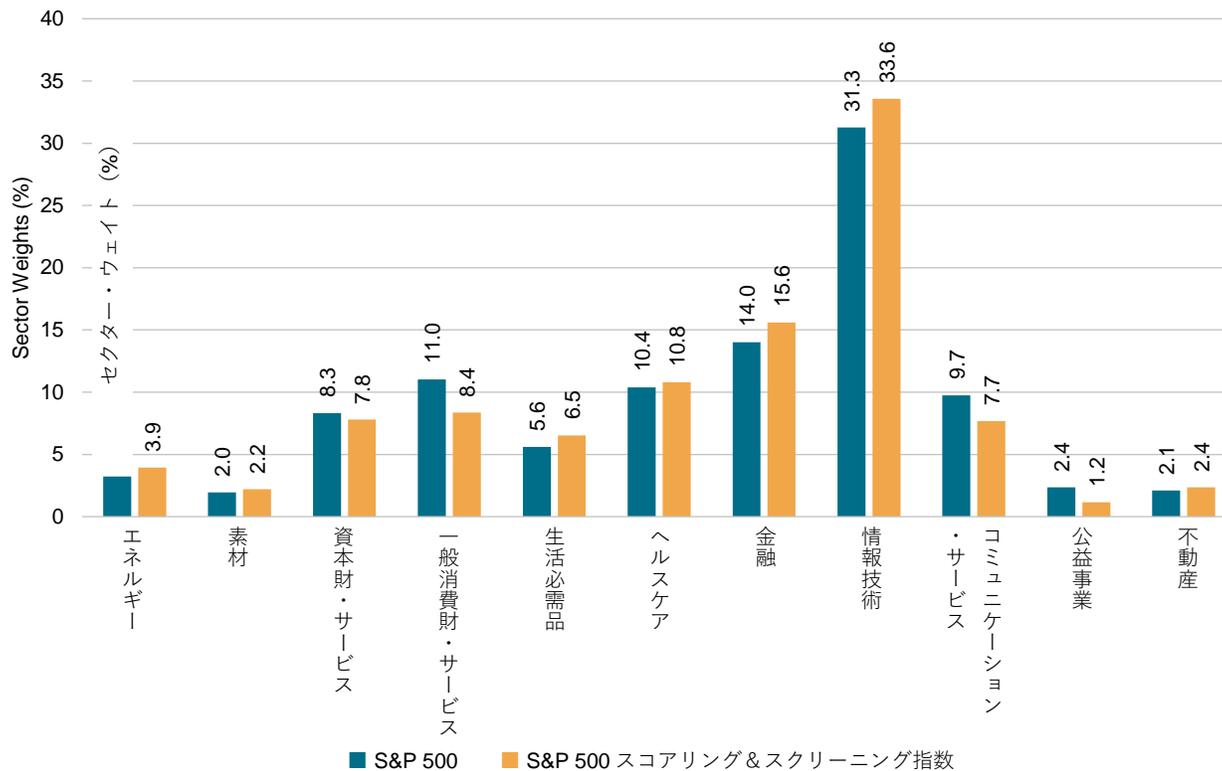


出所：S&P ダウ・ジョーンズ・インデックス LLC。2025 年 2 月 10 日現在の指数構成。S&P グローバル ESG スコアは、S&P グローバルのコーポレート・サステナビリティ評価（CSA、2023 年メソドロジー）に基づいて算出されています。図表は説明目的のために提示されています。

S&P 500 スコアリング&スクリーニング指数は S&P 500 と同様のセクター・ウェイトを維持しており³、2025 年 2 月 10 日現在のセクター・アクティブ・シェアは 6.44%にとどまっています（図表 3 参照）（セクター・アクティブ・シェアとは、ポートフォリオ（ここでは S&P 500 スコアリング&スクリーニング指数）のセクター・ウェイトが、ベンチマーク（ここでは S&P 500）のセクター・ウェイトとどれくらい乖離しているかを示す指標）。

³ Rowton, Stephanie 著、「[Sector Neutrality – An Essential Mechanism within the S&P 500 ESG Index](#)」 S&P ダウ・ジョーンズ・インデックス、 – Indexology® ブログ、2024 年 9 月 9 日。

図表 3：各セクターのウェイト



出所：S&P ダウ・ジョーンズ・インデックス LLC。2025 年 2 月 10 日現在の指数構成。S&P グローバル ESG スコアは、S&P グローバルのコーポレート・サステナビリティ評価（CSA、2023 年メソドロジー）に基づいて算出されています。図表は説明目的のために提示されています。

S&P 500 スコアリング&スクリーニング指数は、高いパフォーマンスを追求することを目標としているわけではありませんが、中長期的に見ると、S&P 500 を若干アウトパフォーマンスしており、S&P 500 と比べても同等のリスク特性を維持しています（図表 4 参照）。さらに、S&P 500 スコアリング&スクリーニング指数は、S&P 500 と同様のセクター・ウェイトを維持しているため、全体的には S&P 500 とほぼ同等のパフォーマンスを維持しています。平均年率トラッキング・エラーは 1.36%に抑えられており、S&P 500 と比べてリターンの乖離が比較的小さいと言えます。

図表 4：S&P 500 スコアリング&スクリーニング指数と S&P 500 のパフォーマンス特性

比較カテゴリー	S&P 500	S&P 500 スコアリング&スクリーニング指数	S&P 500 と S&P 500 スコアリング&スクリーニング指数の比較
構成銘柄数	504	314	-
期間	年率トータル・リターン (%)		年率超過リターン (%)
10年	13.39	13.90	0.51
5年	14.37	14.96	0.58
3年	12.15	11.66	-0.50
1年	22.34	19.69	-2.65
期間	年率リスク (%)		年率トラッキング・エラー (%)
10年	15.24	15.31	1.20
5年	17.69	17.83	1.49
3年	16.89	17.20	1.32
1年	10.15	10.29	1.45
リターン/リスク	リターン/リスク		インフォメーション・レシオ
10年	0.88	0.91	0.42
5年	0.81	0.84	0.39
3年	0.72	0.68	-0.38
1年	2.20	1.91	-1.83

出所：S&P ダウ・ジョーンズ・インデックス LLC。2025年2月10日現在のデータ。過去のパフォーマンスは将来の結果を保証するものではありません。指数のパフォーマンスは米ドル建ての月次トータル・リターンに基づいています。S&P 500 ESG 指数は 2019年1月28日に算出を開始しました。指数算出開始日前の全てのデータは仮説に基づいてバックテストされたデータです。表は説明目的のために提示されており、仮定に基づく過去のパフォーマンスを反映しています。バックテストのパフォーマンスに関する固有の限界について詳しい情報をお求めの方は、この資料の最後にあるパフォーマンス開示をご覧ください。

金融商品と取引インフラ

S&P 500 ESG 指数から S&P 500 スコアリング&スクリーニング指数に名称が変更されましたが、この指数に関連する金融商品や取引インフラに影響はなく⁴、この指数に連動する上場投資信託 (ETF)、上場デリバティブ (ETD)、ミューチュアル・ファンド、保険商品、およびストラクチャード商品などはこれまで通り運用されます。この指数に関連する主な金融商品としては、シカゴ・マーカンタイル取引所 (CME) で取引される E ミニ S&P 500 ESG 指数先物⁵や、シカゴ・オプション取引所 (Cboe) で取引されるオプション⁶などがあります。この指数に関連する金融商品や取引インフラに影響はなく、投資家や金融機関の利便性も維持されています。

⁴ Spivey, Aran, Michael Orzano, 及び Igor Zilberman 著。「[The Growing S&P 500 ESG Index Liquidity Ecosystem](#)」 S&P ダウ・ジョーンズ・インデックス、2024年1月5日。

⁵ <https://www.cmegroup.com/markets/equities/sp/e-mini-sandp-500-esg-index.html> を参照ください。

⁶ https://www.cboe.com/tradable_products/sp500/esg_spx_options/ を参照ください。

まとめ

欧州証券市場監督局（ESMA）は、ESG や持続可能性に関連する用語をファンドの名称に使用する際のガイドラインを公表しました。これを受け、当社は **S&P 500 ESG** 指数の名称を **S&P 500 スコアリング&スクリーニング** 指数に変更しました。この変更は、指数を利用する投資家や金融機関に配慮したものです。この指数の基本的な特徴や目標は変わっていません。指数のメソドロジーはこれまでと同じであり、様々な金融商品のベンチマークとして引き続き重要な役割を果たします。

S&P 500 スコアリング&スクリーニング 指数や、その他のサステナビリティ指数に関する詳細については、当社の [ウェブサイト](#) をご覧になるか、またはお客様サービス・チームまでご連絡ください。

このブログの記事は意見であり、助言ではありません。[免責条項](#)をお読み下さい。

S&P ダウ・ジョーンズ・インデックス免責事項

© S&P グローバルの一部門である S&P ダウ・ジョーンズ・インデックス LLC 2025 年。不許複製。Standard & Poor's、S&P、は、S & P グローバルの一部門であるスタンダード・アンド・プアーズ・ファイナンシャル・サービシーズ LLC（以下「S&P」）の登録商標です。「ダウ・ジョーンズ」は、ダウ・ジョーンズ・トレードマーク・ホールディングズ LLC（以下「ダウ・ジョーンズ」）の登録商標です。商標は、S&P ダウ・ジョーンズ・インデックス LLC にライセンス供与されています。本資料の全体または一部の再配布、複製、そして（または）複写を書面による承諾なしに行うことを禁じます。本資料は、S&P ダウ・ジョーンズ・インデックス LLC、ダウ・ジョーンズ、S&P 或いはそれぞれの関連会社（これらを合わせて「S&P ダウ・ジョーンズ・インデックス」という）が必要なライセンスを持たない地域におけるサービスの提供を行うものではありません。S&P ダウ・ジョーンズ・インデックス LLC が提供する全ての情報は、個人とは無関係であり、いかなる個人、事業体または集団のニーズに合わせて調整したものでもありません。S&P ダウ・ジョーンズ・インデックスは、その指数を第三者にライセンス供与することに関連した報酬を受けています。指数の過去のパフォーマンスは将来の結果を保証するものではありません。

指数に直接投資することはできません。指数が表すアセット・クラスへのエクスポージャーは、指数に基づく投資可能商品を通して得られます。S&P ダウ・ジョーンズ・インデックスは、第三者が提供し、S&P ダウ・ジョーンズ・インデックスの指数のリターンに基づく投資リターンを提供することを目指す投資ファンド、或いはその他のピークルを提供、推奨、販売、宣伝、或いは運用することはありません。S&P ダウ・ジョーンズ・インデックスは、指数に基づく投資商品が指数のパフォーマンスに正確に連動し、プラスの投資リターンを上げることについて保証しません。S&P ダウ・ジョーンズ・インデックス LLC は投資顧問会社ではなく、S&P ダウ・ジョーンズ・インデックスは、そうした投資ファンド或いはその他の投資ピークルに投資する適否に関して表明することはありません。そうした投資ファンド或いはその他の投資ピークルへの投資決定は、本資料で言及されたいかなる部分も信頼して実行されるべきではありません。そうしたファンド或いはその他のピークルに投資しようとする投資家に対して、投資ファンド或いはその他のピークルの発行体またはその代理人が作成する目論見書または類似文書に記載されているように、そうしたファンドへの投資に伴うリスクを注意深く検討した上で投資することを助言します。指数への証券の組入は、S&P ダウ・ジョーンズ・インデックスによるその証券の買い、売り、または保有の推奨ではなく、また投資助言でもありません。S&P の米国のベンチマーク指数及びダウ・ジョーンズの米国のベンチマーク指数の終値は、S&P ダウ・ジョーンズ・インデックスが、指数構成銘柄の各主要取引所が設定する終値に基づいて計算します。終値は S&P ダウ・ジョーンズ・インデックスがサードパーティ・ベンダーの 1 社から受け取り、別のベンダーから届く価格と比較することにより検証されます。各ベンダーは終値を主要取引所から受け取ります。日中の実時間価格は、2 次検証を経ずに同様に計算されます。

これらの資料は、信頼できると考えられる情報源から一般に公衆が入手できる情報に基づき、情報提供のみを目的として作成されたものです。本資料に記載されるいかなる内容（指数データ、格付、クレジット関連の分析とデータ、モデル、ソフトウェア、或いはその他のアプリケーションまたはそれからの出力）も他のいかなる部分（以下「内容」という）も、S&P ダウ・ジョーンズ・インデックスによる事前の書面による承認なくして、いかなる形式といかなる手段によっても、改変、リバースエンジニアリング、再製作または配布、或いはデータベースまたは検索システムへの保存を行うことはできません。内容を、不法な或いは未認可の目的に使用してはいけません。S&P ダウ・ジョーンズ・インデックス及びいかなるサードパーティ・データ・プロバイダー及びライセンサー（合わせて「S&P ダウ・ジョーンズ・インデックス当事者」という）も、内容の正確性、完全性、適時性或いは利用可能性を保証しません。S&P ダウ・ジョーンズ・インデックス当事者は、いかなる過誤、遺漏についても、原因の如何を問わず、内容を用いて得られた結果について責任を負いません。内容は、「現状」ベースで提供されています。S&P ダウ・ジョーンズ・インデックス当事者は、特定の目的または利用に対する販売可能性または適合性についてのいかなる保証も、バグやソフトウェアのエラーまたは欠陥がないこと、内容の機能が中断されないこと、或いは内容が何らかのソフトウェアまたはハードウェア構成により動作することの保証も、以上を含みそれに限定されない、あらゆる明示的または暗示的保証も拒否します。S&P ダウ・ジョーンズ・インデックス当事者は、いかなる場合も、いかなる当事者に対しても、内容の使用に関連して発生する、いかなる直接的、間接的、偶発的、典型的、補償的、懲罰的、特殊な或いは結果的な損害、費用、経費、法的費用、或いは損失に対しても（逸失収入または逸失利益、及び機会費用を含みそれに限定されず）、たとえ損害の可能性について事前に通告を受けていようと、責任を負いません。

S&P ダウ・ジョーンズ・インデックスは、各事業部の活動の独立性と客観性を維持するために、それぞれの活動を他から隔離しています。その結果、S&P ダウ・ジョーンズ・インデックスの一部の事業部は、他の事業部では入手できない情報を保有する可能性があります。S&P ダウ・ジョーンズ・インデックスは、各分析プロセスの中で受け取った非公開情報の機密を守る方針及び手順を確立しています。

さらに、S&P ダウ・ジョーンズ・インデックスは、広範なサービスを、証券の発行体、投資顧問会社、証券会社、投資銀行、その他の金融機関及び金融仲業者など多くの組織に提供しています。したがって、これらの組織から報酬その他の経済的便益を受ける可能性があります。これらの組織には、証券やサービスを推奨し、格付け評価し、モデルポートフォリオに組入れ、評価するか別の対応を行う組織が含まれます。

最新のブログ 「**Indexology**」 (英語) をご覧になりたい方は、こちらのサイト

www.indexologyblog.com よりご登録いただくと、更新の都度メッセージが届きます。